

CA Clarity™ PPM

リリース ノート - オンプレミス

リリース 13.2.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または(ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2013 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CAへの連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト
[\(http://www.ca.com/jp/support/\)](http://www.ca.com/jp/support/) をご覧ください。

目次

第 1 章: CA Clarity PPM へようこそ	7
このドキュメントで説明する項目	7
トレーニング	7
各国語のサポート	8
発行済みの修正プログラム	9
既知の問題および解決された問題	9
既知の問題	9
解決された問題	9
Java Runtime Environment の問題	9
サポートされているアップグレードパス	9
アドインの互換性	10
CA Clarity PPM ソリューションパックの互換性	12
第 2 章: 新規機能と拡張機能	13
新規機能	13
[キャパシティの概要] ポートレット	14
Mobile Time Manager	14
チャートの新しい [グループ化の基準] 機能	15
拡張された機能	15
新しいポートフォリオ機能	16
資本支出および業務経費	16
リリース 13.2 以前に作成された投資の更新による資本支出および業務経費の表示	19
設定可能な OBS 機能	21
Microsoft Project (MSP) コネクタでの自動再計算機能	21
操作性の向上	22
NSQL クエリ用の行制限ガバナー	23
checkinstall ユーティリティと追加のスクリプト	24
第 3 章: ドキュメント	25
CA Technologies マニュアル選択メニューの表示	25
ドキュメントを検索する場所	25
PDF の表示および検索方法	26
マニュアルの変更点	26

第 4 章: 互換性	27
CA Clarity PPM サーバ.....	27
新規インストール.....	28
アップグレードを実施する顧客への追加サポート	28
コンポーネント.....	29
統合サーバ.....	31
クライアント.....	31
Clarity Mobile Time Manager.....	34
CA Clarity PPM に含まれる製品.....	35
変更履歴.....	36
CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点.....	36
CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点.....	38
CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点	40
CA Clarity PPM バージョン 13.0.00 での変更点.....	41
FIPS オペレーティング モード制限	42
IPv6 ネットワーク互換性制限	42
CA Business Intelligence リリース 3.3 - (SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 5) サポート されている設定	45
第 5 章: アクセシビリティ機能	49
製品機能の強化点.....	49
表示	49
音声	50
キーボード.....	51
マウス.....	51
ユーザのアクセシビリティの設定	52
キーボードショートカット	53
基本機能のキーボードショートカット	53
CA Clarity PPM アクションのキーボードショートカット	53
リストのキーボードショートカット	54
付録 A: サードパーティソフトウェアに関する通知	57

第1章: CA Clarity PPM へようこそ

CA Clarity PPM リリース 13.2をご利用いただき、誠にありがとうございます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[このドキュメントで説明する項目 \(P. 7\)](#)

[トレーニング \(P. 7\)](#)

[各国語のサポート \(P. 8\)](#)

[発行済みの修正プログラム \(P. 9\)](#)

[既知の問題および解決された問題 \(P. 9\)](#)

[サポートされているアップグレードパス \(P. 9\)](#)

[アドインの互換性 \(P. 10\)](#)

[CA Clarity PPM ソリューションパックの互換性 \(P. 12\)](#)

このドキュメントで説明する項目

このドキュメントでは、CA Clarity PPM で拡張された機能、ドキュメント、およびシステム要件について説明します。このリリースでは、製品からアクセスできる CA Technologies マニュアル選択メニューを用意しています。マニュアル選択メニューと製品マニュアルの詳細については、「[CA Technologies マニュアル選択メニューの表示 \(P. 25\)](#)」を参照してください。

注: 本製品は、本書の出版時点での最新のリリースノートを参照してください。最新のリリースノートは、CA サポート (<http://ca.com/support>) に掲載されています。詳細なインストール手順については、「[インストールガイド](#)」を参照してください。

トレーニング

ユーザ トレーニングについては、CA Technologies は、CA Productivity Accelerator (CA PA) ソリューションを提供しています。このソリューションを使用して、教材を独自に作成したり、シミュレーションや評価を行うことができます。作成した教材は、教室でのトレーニングや、オンラインのシミュレーションで使用します。ユーザは、[ユーザ] ツールバーの [ラーニング] リンク、または、LMS (学習管理システム) からシミュレーションや評価を行うことができます。CA PA が提供する標準のコンテンツ モジュールにより、CA PA エディタへのアップロードが可能になり、CA Clarity PPM の設定に合わせて変更できます。また、組織のプロセスおよび手順を CA PA ソリューションに統合することができます。

CA Education はこれらのトレーニング ソリューションを提供します。 提供されているトレーニングと CA PA の詳細については、<http://ca.com/education> の CA Education Web サイトを参照してください。

各国語のサポート

国際化製品とは、必要なオペレーティング システムおよびサードパーティ製品のローカル言語バージョンで正常に動作する英語版製品です。また、国際化製品は、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語の書式をサポートします。

翻訳済み製品（ローカライズ済み製品とも言います）とは、製品のユーザ インターフェース、オンラインヘルプ、その他のドキュメントのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

この製品は完全にローカライズされ、日付、時刻、および数値フォーマットに関する 100 以上の地域設定をサポートします。ユーザ インターフェースは、以下の言語で利用できます。

- ポルトガル語（ブラジル）
- チェコ語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- ノルウェー語
- ポーランド語
- ロシア語
- 中国語（簡体字）
- スペイン語
- スウェーデン語
- 中国語（繁体字）
- トルコ語

CA Clarity PPM オンラインヘルプと製品ドキュメントのローカライズバージョンは、製品の一般リリース（General Availability）から 90 日以内に提供されます。

ローカライズされた製品ドキュメントの最新のバージョンは、[CA サポート](#)から入手できます。

発行済みの修正プログラム

製品およびソリューション用の認定マトリクス、およびテクニカル サポートが <http://ca.com/support> で提供するパッチを確認することをお勧めします。 ユーザーはソリューション、パッチ、および製品リリースに必要なすべての前提条件の発行済み修正プログラムを確認できます。

既知の問題および解決された問題

既知の問題

既知の問題については、[CA Support Online](#) にログインし、キーワード 「*clarity13open*」 を使用して検索してください。 すべての関連記事および既知の問題が表示されます。

注: 製品のインストールと新機能に関する既知の問題については、「変更の影響とアップグレードガイド」の「インストールおよびアップグレード」の章を参照してください。

解決された問題

解決された問題については、CA Support Online の[解決された問題のページ](#)を参照してください。

Java Runtime Environment の問題

Java Runtime Environment (JRE) は、CA Clarity PPM のリリース時には不明である問題を含めて、セキュリティに関する問題を解決するために頻繁に更新されます。 最新の修正を反映するには、最新の JDK バージョン 7 をダウンロードすることを推奨します。

サポートされているアップグレード パス

以下のリリースのいずれかがインストールされていれば、CA Clarity PPM リリース 13.2 にアップグレードできます。

- CA Clarity PPM リリース 8.1、またはサービス パック、または修正パック 8.1.x
- CA Clarity PPM バージョン 12.0 またはサービス パック 12.0.x

- CA Clarity PPM リリース 12.1 またはサービス パック
サポートされているパッチ レベル
 - 12.1.0.1 ~ 12.1.0.8
 - 12.1.1.1 ~ 12.1.1.7
 - 12.1.2.1 ~ 12.1.2.3
 - 12.1.3.1 ~ 12.1.3.6
- CA Clarity PPM バージョン 13.0 またはサービス パック
サポートされているパッチ レベル
 - 13.0.1.1 ~ 13.0.1.7
- CA Clarity PPM バージョン 13.1 またはサービス パック
サポートされているパッチ レベル
 - 13.1.0.1 ~ 13.1.0.5

重要: リリース 13.2 へアップグレードする際、上記のリストにない CA Clarity PPM パッチ レベルを適用している場合は注意してください。アップグレードに関する問題が発生する場合があります。最良の結果を得るには、今後のリリースまたはサービス パック用のアップグレードパスがサポートされるまでお待ちください。詳細については、CA サポートまたは CA サービス担当者にお問い合わせください。また、[CA Clarity PPM グローバル ユーザ コミュニティ](#)でも詳細情報を入手できます。

アドインの互換性

以下のセクションでは、リリース 13.2 用のインストールされたアドイン、アクセラレータ、およびコネクタのアップグレードに関する重要な情報について説明します。

- バージョン 13.0 またはリリース 13.1 からリリース 13.2 にアップグレードする場合には、以下のアドインがアップグレードされます。
 - PMO アクセラレータ
 - Clarity ソリューションパック (CSP)
 - 新製品開発用アクセラレータ (NPD)
 - Microsoft SharePoint 用コネクタ
 - PPM Essentials アクセラレータ (PPME)
 - ビジネス リレーションシップマネージャ (BRM)
 - CA Clarity Agile

- バージョン 13.0 より前のいずれかのバージョンからリリース 13.2 にアップグレードする場合は、インストールされているアドインをすべてアップグレードしてください。
- 新しいインストールプロセスは、アドイン、アクセラレータ、コネクタに使用できます。

注: 詳細については、「[インストール ガイド](#)」を参照してください。

以下の表に、リリース 13.2 と互換性のあるアクセラレータおよびコネクタのリリースを示します。

アクセラレータまたはコネクタ	新しいインストール環境 13.2	12.x から 13.2 へのアップグレード	13.x から 13.2 へのアップグレード
PMO アクセラレータ	3.2.00	3.2.0	3.2.0
Clarity ソリューションパック (CSP)	3.2.0	3.2.0	3.2.0
アーンドバリューマネージャ	2.0.1	2.0.1	2.0.1
PRINCE2 用アクセラレータ	2.0.1	2.0.1	2.0.0 または 2.0.1
PMBOK 用アクセラレータ	2.0.1	2.0.1	2.0.0 または 2.0.1
新製品開発用アクセラレータ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
PPM Essentials アクセラレータ	2.0.2	2.0.2	2.0.0、2.0.1、ま たは 2.0.2
BRM アクセラレータ	3.0.2	3.0.2	3.0.2
CA Unicenter Service Desk 12.7 & CA Software Change Manager™ 12.1.0.3 用コネクタ	2.0.1	2.0.1	2.0.1
CA Unicenter Asset Portfolio Management 11.3.4 用コネクタ	2.0.1	2.0.1	2.0.1
Microsoft SharePoint 2010 用コネクタ	2.0.2	2.0.2	2.0.0、2.0.1、ま たは 2.0.2
サービス接続	2.0.0	2.0.0	2.0.0
Catalyst コネクタ	2.5.0 または 3.3.0	2.5.0 または 3.3.0	2.5.0 または 3.3.0
CA Clarity Agile	Spring 2013	Spring 2013	Spring 2013

CA Clarity PPM ソリューション パックの互換性

CA Clarity PPM ソリューションパック アドインをインストールする前に、CA Clarity PPM および PMO アクセラレータの互換性のあるバージョンがインストールされていることを確認してください。ソリューションパックをインストールする前に、PMO アクセラレータ アドインの互換性のあるバージョンをインストールしていないと、CA Clarity PPM ソリューションパックのインストールは失敗します。

重要: CA Clarity PPM と PMO アクセラレータのアップグレードが必須か、または任意かを判断するには、CA Clarity PPM ソリューションパック リリースノートの認定およびサポートされているバージョンのチャートを確認してください。完全な情報については、CA Support Online の [CA Clarity PPM ソリューションパックの索引ページ](#) を参照してください。

第2章：新規機能と拡張機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [新規機能 \(P. 13\)](#)
- [拡張された機能 \(P. 15\)](#)

新規機能

このリリースには以下の新規機能が搭載されています。

- [【キャパシティの概要】ポートレット \(P. 14\)](#)
- [Mobile Time Management \(P. 14\)](#)
- [チャートの新しい \[グループ化の基準\] 機能 \(P. 15\)](#)

OWB の新しい機能および拡張機能については、「*OWB Release Notes*」を参照してください。

[キャパシティの概要]ポートレット

[キャパシティの概要] ポートレットでは、リソース OBS の階層ビューから、組織内の所定のユニットによって提供されたキャパシティ、需要、残存容量、および実働時間の全体的な要約を確認できます。このページでは、ポートレットを使用して、集計された形式と詳細な形式の両方で情報が提供されます。[キャパシティの概要] ポートレットの総計情報および以下のドリルダウン ポートレットの詳細情報を表示できます。

■ [スタッフ配置概要] ポートレット

選択された OBS ユニットのリソース、プライマリ ロール、および [キャパシティ計画概要] ページの表示と同じ期間における配置が表示されます。

■ [未充足のロール] ポートレット

OBS ユニットの未充足のロール要求、ロールを要求している投資、およびロール要求の配置情報が表示されます。

■ [投資需要] ポートレット

OBS ユニットに関連付けられた投資、投資マネージャ、投資の開始日と終了日、および選択された OBS からのリソースの配置が表示されます。

注: [キャパシティの概要] ポートレットの詳細については、「リソース管理ユーザ ガイド」を参照してください。

Mobile Time Manager

CA Clarity PPM Mobile Time Manager では、モバイルマートフォンからタイムシートを提出および承認できます。Mobile Time Manager 機能により、以下のタスクを実行できます。

■ タイムシートの提出

- 以前のタイムシート期間からのタイムシート項目を入力する。
- 以前に提出されたタイムシートを返却する。

■ タイムシートの承認

- バルク タイムシートを承認または返却する。
- タイムシートを提出していないリソースに事前通知を送信する。
- 標準タイムシート通知を使用する。
- アドホック項目およびアクション項目のタイムシートを承認する。

チャートの新しい[グループ化の基準]機能

[グループ化の基準] 機能を使用すると、NSQL クエリ データ プロバイダを使用した場合にのみ可能なチャート結果を設定できます。この機能により、結果のグループ化に使用される属性に基づいてチャート結果セットが絞り込まれ、より適切な表示結果を得ることができます。グループ化機能は、オブジェクトデータ プロバイダおよびポートフォリオ システム データ プロバイダに使用可能です。

たとえば、[プロジェクトごとの計画コスト] と表示される縦棒グラフの場合、チャートが読みやすいかどうかはプロジェクト数次第です。X 軸または Y 軸に 500 プロジェクトを表示したとすると、使用可能な総データを表示するチャートは読みにくいものになります。OBS で縦棒グラフ データをグループ化すると、チャート結果セットが小さくなり、読みやすくなります。

拡張された機能

このリリースでは、以下の機能が拡張されています。

- [新しいポートフォリオ機能 \(P. 16\)](#)
- [資本支出および業務経費 \(P. 16\)](#)
- [リリース 13.2 以前に作成された投資の更新による資本支出および業務経費の表示 \(P. 19\)](#)
- [設定可能な OBS 機能 \(P. 21\)](#)
- [Microsoft Project \(MSP\) コネクタでの自動再計算機能 \(P. 21\)](#)
- [操作性の向上 \(P. 22\)](#)
- [NSQL クエリ用の行制限ガバナー \(P. 23\)](#)
- [checkinstall ユーティリティと追加のスクリプト \(P. 24\)](#)

新しいポートフォリオ機能

以前のポートフォリオ機能は削除され、新しい [ポートフォリオ管理] 機能に置換されました。ホームページが以前の [ポートフォリオ] ページまたは [ポートフォリオ] タブであった場合、現在そのホームページは製品に含まれていません。その場合、リリース 13.2 のホームページはシステムの既定ホームページに戻ります。

以前の [ポートフォリオ] 機能からのポートレットは削除されていますが、そのポートレットが含まれていたページは残っています。これらのページは、他の有効なポートレットの追加によりページをカスタマイズしていたお客様に対応するため保持されました。カスタムポートレットのないページはまだ表示可能ですが、これらのページは空です。

このバージョンのポートフォリオ機能は書き換えられています。この機能の主要な重要事項の一部を以下に示します。

- コストのタイプ（[資本支出] または [業務経費] のタイプ）により、ポートフォリオを計画する。
- 特定の期間によって制約（コストまたはリソース）を計画する。
- ポートフォリオ投資のランキングルールを作成する。
- 投資を手動でランク付けする。
- 投資の開始日および終了日および投資ランキングに対する機能をドラッグアンドドロップする。
- 投資情報とポートフォリオを手動または指定した時間間隔で同期する「同期」ジョブの追加。ポートレットベースのポートフォリオは、1つの中心の場所からポートフォリオ情報をより効率的に収集します。
- 一貫性のある命名規則で作成された、新しいポートフォリオデータプロバイダ。
- ユーザ定義の間隔または手動ベースで設定してポートフォリオ投資情報を更新できる、各ポートフォリオに合わせたジョブ。

資本支出および業務経費

単純予算ページおよび詳細な会計計画で、業務コストおよび資本コストを別々に表示できます。以下の方法でコスト情報を入力できます。

- 全体的な見積もりの場合は、投資予算ページでこれらの経費の合計を直接入力します。

- コスト タイプ情報をより詳細に表示するには、業務経費および資本支出を収集する投資会計計画を設定します。タスクまたはチーム配置から詳細なコスト情報を収集できます。

この新しいリリースの変更を以下の表に示します。

新しい属性の追加	ページまたはエリア	オブジェクト	既定値	ユーザ インターフェース	XML オープン ゲートウェイ	セキュリティ の動作
コスト タイプ	投資会計	projfinproperties	業務	この属性は、投資会計プロパティで必 要です。リリース 13.2 では、ビューがカスタマ イズされている場合であっても、この属性が会 計プロパティ表示に表示されま す。	この属性は XOG で必 須ではありません。これは、投資概要の 一部として追加され ます。	

拡張された機能

新しい属性の追加	ページまたはエリア	オブジェクト	既定値	ユーザ ターフェース	XML オープン ゲートウェイ	セキュリティ
コスト タイプ	タスク	task	なし	リリース 13.2 では、この属性は既定では表示されません。	この属性は、投資 XOG のタスクの一部として追加されます。	会計アクセス権が付与されている場合にのみ、この属性は編集可能です。この属性は Open Workbench および Microsoft Project で編集できますが、CA Clarity PPM への編集を保存するための会計アクセス権を持っている必要があります。
資本化パーセント	チーム	team	なし	この属性は既定では表示されません。表示されるように設定する必要があります。	この属性は、投資 XOG のチームの一部として追加されます。	会計アクセス権が付与されている場合にのみ、この属性は編集可能です。

新しい属性の追加	ページまたはエリア	オブジェクト	既定値	ユーザ インターフェース	XML オープン ゲートウェイ	セキュリティ
				の動作		
計画資本コスト	単純予算	financials	該当せず	これら属性は既定では表示されません。表示されるように設定する必要があります。	以下のフィールドは、XOG には含まれていません。	
計画業務コスト					計画資本コスト (%)	
資本コスト予算					計画業務コスト (%)	
予算業務コスト					資本予算 %	
計画資本コスト (%)					予算業務 %	
計画業務コスト (%)					残りのフィールドは、投資概要と共に追加されます。	
資本予算 %					以下の既存のフィールドは、読み取り専用になります。	
予算業務 %					Planned Cost Total	
					Budget Cost Total	

リリース 13.2 以前に作成された投資の更新による資本支出および業務経費の表示

このリリースにアップグレードした後には、資本支出および業務経費を表示するために、リリース 13.2 以前に作成された投資を更新できます。投資の更新は任意であり、ビジネスニーズに応じて異なります。会計計画で資本支出と営業経費を別々に表示する場合にのみ、更新してください。

以下のジョブにより、[資本と業務] コスト タイプを投資に追加するタスクが自動化されます。

資本化の有効化

このジョブは、更新のために選択する投資、タスク、およびトランザクションに対する [コストタイプ] 属性を [業務] または [資本] に設定します。[業務] コストタイプまたは [資本] コストタイプのいずれかへの投資請求コードを選択し、マップします。ジョブが実行されると、請求コードにマップされているコストタイプが、投資とそのタスクおよびトランザクションに適用されます。ジョブパラメータの [資本化パーセント] 値を入力した場合は、このジョブにより、投資チーム レコード上の資本化パーセントも更新されます。

コストの基準計画請求コードをコストタイプと共にコピー

このジョブは、レコードの投資の基準計画のコピーを作成し、[コストタイプ] を既存のグループ化属性のリストに追加します。投資をこのジョブの対象とするには、最初に投資に対して [資本化の有効化] ジョブを正常に実行する必要があります。

ジョブを実行しない場合は、以下の結果が表示されます。

- 既存のすべての投資には、[業務] のコストタイプが含まれます。
- PPA_WIP テーブル内のすべてのレコードには、[業務] のコストタイプが含まれます。

アップグレードアクション: (オプション) リストの順にジョブを実行して、リリース 13.2 以前に作成された投資を更新します。

大量のデータを含む投資を処理する場合は、ジョブを実行する投資の数を制限します。資本支出および営業経費を表示するようにすべての投資が正常に処理されたら、ジョブを非アクティブにすることを推奨します。

注: ジョブの詳細については、「管理ガイド」を参照してください。

設定可能な OBS 機能

このリリースからは、任意の CA Clarity PPM 属性のような OBS を設定できます。OBS をオブジェクトに関連付けると、OBS に対して属性が作成されます。関連付けられたオブジェクトは、[OBS のプロパティ] ページ上の [関連オブジェクト] セクションのハイパーリンクとして表示されます。[オブジェクト属性] ページで作成される属性を表示するには、ハイパーリンクをクリックします。このページで、既定値を設定でき、[OBS] フィールドを読み取り専用にできます。

このリリース以前では、[既定値の復元] アクションを実行すると、インストール中に作成されたビューが復元されました。このリリースからは、オブジェクトに対して [既定値の復元] アクションを実行すると、[OBS] セクションは、[選択済み] 列のすべての OBS 属性と共に [概要] サブページに戻ります。

このリリースからは、すべての既存のセクションと同様に、[OBS] セクションを設定、移動、または削除できます。初めて OBS をオブジェクトに関連付けると、[OBS] セクションは、オブジェクトの [ビューの作成] および [ビューの編集] で OBS 属性と共に作成されます。

設定可能な OBS の詳細については、「管理ガイド」を参照してください。

Microsoft Project (MSP) コネクタでの自動再計算機能

Microsoft Project (MSP) では、スケジュールの [計算モード] が [オン] に設定されている場合にのみ、CA Clarity PPM で開いた後にプロジェクト全体が再計算されます。

以前のリリースでは、CA Clarity PPM から MSP にプロジェクトをエクスポートすると、[終了日] フィールドおよび [依存関係] フィールドが変更されます。これらのフィールドは、一部のタスクにおいて再計算および更新されます。MSP で [計算モード] が [手動] に設定されていても、更新が実行されます。

このリリースからは、[終了日] フィールドおよび [依存関係] フィールドを更新せずに、CA Clarity PPM から MSP にプロジェクトをエクスポートできます。これらのフィールドが更新されるのを防ぐには、以下のタスクを完了します。

- MSP で、スケジュールの [計算モード] を [オフ] に設定します。
- CA Clarity PPM で、プロジェクトのすべてのタスクの [実施期間設定方法] を [指定時間均等] に設定します。

タスク終了日よりも早い終了日でリソースに割り当てられているタスクの終了日を更新できます。以下の表に、タスク終了日がこれらの場合にどのように更新されるかを示します。

リソース終了日	タスク終了日への更新
タスク開始日の前	タスク終了日はタスク開始日に設定されます。 タスクはマイルストーンタスクに変更されます。
タスク開始日の後、ただしタスク終了日の前	タスク終了日はリソース終了日として設定されます。

どちらの場合にも、タスク終了日はリソース終了日に従って設定されます。

操作性の向上

このリリースには、以下の操作性の向上が含まれています。

- **Clarity のグリッドおよびリスト内を容易に移動できる、新しいキーボードショートカット**

アクション	キーボードの組み合わせ
行の最後に移動	■ Ctrl+ 右方向キー
注: TSV 行でのアクションの場合は、キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。	
行の先頭に移動	■ Ctrl+ 左方向キー
ページを上または下に移動	■ Ctrl+Alt+ 上方向キー ■ Ctrl+Alt+ 下方向キー
リストの一番上または一番下に移動	■ Ctrl+ 上方向キー ■ Ctrl+ 下方向キー
注: アクションがリストの TSV セクションにある場合は、キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動します。	

■ 期間単位値 (TSV) グリッド用の新しいキーボードショートカット

アクション	キーの組み合わせ
TSV 行の選択	■ Shift+Ctrl+ 右方向キー
TSV 列の選択	■ Shift+Ctrl+ 下方向キー
現在のセルの左または右の單一セルの選択	■ Shift+ 右方向キー Shift+ 左方向キー
現在のセルの上または下の單一行の選択	■ Shift+ 上方向キー Shift+ 下方向キー
TSV セルのコピー	■ Ctrl+c
TSV セルの貼り付け	■ Ctrl+v
TSV セルの切り取り	■ Ctrl+x
切り取り、コピー、または貼り付け操作の取り消し	■ Ctrl+z

■ TSV 期間をスクロールする際の編集の保持

期間単位値を編集し、グリッド内の別の期間にスクロールできます。画面外にスクロールしても、行った編集は保持されます。ユーザが保存するまで、または保存せずに破棄するまで、編集は残ったままになります。

NSQL クエリ用の行制限ガバナー

NSQL クエリ用の行制限ガバナーは、処理される行の数を制限します。これにより、あまりにも多くのサーバリソースを使用した NSQL クエリの可能性が少なくなります。行制限ガバナーを適用する方法および適用する場合に関するシナリオの詳細については、「変更の影響とアップグレードガイド」を参照してください。

checkinstall ユーティリティと追加のスクリプト

このリリースからは、インストール中に CA Clarity PPM checkinstall ユーティリティが呼び出され、アップグレードには、以下のアクションを実行する追加のスクリプトが含まれます。

- データベースのカスタマイズおよび正しいデータベース バージョンを確認する。
- 「インストールガイド」および「変更の影響とアップグレードガイド」のレビューの名前、電子メール アドレス、および確認のプロンプトを表示する。
- アップグレード後にユーティリティを呼び出して、cmn_install_history テーブル内のポストアップグレード レコードの存在を確認することにより、アップグレード プロセスが正常に完了したことを確認する。

第3章: ドキュメント

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [CA Technologies マニュアル選択メニューの表示 \(P. 25\)](#)
- [マニュアルの変更点 \(P. 26\)](#)

CA Technologies マニュアル選択メニューの表示

CA Support Online のドキュメントページで利用できる CA Technologies マニュアル選択メニューで、セクション 508 に準拠している HTML 形式と PDF 形式の製品ドキュメントセットを提供します。CA Support Online から CA Technologies マニュアル選択メニューをオンラインで表示できます。また、マニュアル選択メニューをコンピュータ上にダウンロードしてローカルで表示することもできます。

CA Technologies マニュアル選択メニューは、製品と一緒に自動的にインストールされ、重要なドキュメントセットを HTML 形式で参照できます。マニュアル選択メニューは、製品の [ヘルプ] リンクをクリックすると表示できます。

ZIP ファイルを抽出して CA Technologies マニュアル選択メニューを表示するには、以下の手順を実行します。

1. WinZip などのアーカイブ製品を使用します。
2. コンテンツをローカル フォルダに解凍します。
3. Bookshelf フォルダ内の Bookshelf.html ファイルをダブルクリックします。

CA Technologies マニュアル選択メニューが開きます。このメニューを使って、製品ドキュメントの表示と検索を行うことができます。

ドキュメントを検索する場所

以下の場所から製品ドキュメントにアクセスできます。

- 製品の [ヘルプ] リンクをクリック。
- インストールメディアの Docs ディレクトリ。
- <http://www.ca.com/jp/support> のテクニカルサポート

PDF の表示および検索方法

PDF ファイルを表示するには Adobe Reader が必要です。ご使用のコンピュータにインストールされていない場合は、Adobe の Web サイトからダウンロードおよびインストールしてください。

CA Technologies マニュアル選択メニューで Adobe Reader を使って PDF ファイルを開いて検索すると、PDF ファイルが個別に検索され、検索用語の個々のインスタンスが表示されます。

マニュアルの変更点

CA Clarity PPM のマニュアルは、情報をより速く検索できるよう改善されました。マニュアルの改善点は以下のとおりです。

- CA Support Online へのログインを必要としない製品ドキュメントは、Google などのサードパーティの検索エンジンからも利用できます。
- 「ポートフォリオ管理ユーザ ガイド」は、ドキュメントセットから除外されました。マニュアル選択メニューで使用可能なポートフォリオシナリオ（「リリース情報およびお知らせ」）では、ポートフォリオを管理する新しい方法について説明します。

第4章：互換性

この付録には、このリリース用のオペレーティング環境情報が含まれます。また support.ca.com の [互換性] リンクからも利用できます。

この付録に記載された製品の一部は CA Clarity PPM に付属していないため、ユーザーが購入する必要があります。CA Clarity PPM に付属しているソフトウェアの詳細については、「[CA Clarity PPM に含まれる製品 \(P. 35\)](#)」を参照してください。詳細については、使用許諾契約を参照してください。

CA Clarity PPM サーバ

以下の表に、CA Clarity PPM サーバソフトウェア（アプリケーションおよびバックグラウンドサーバ）を実行するサーバ用にサポートされているプラットフォームを示します。

新規インストール

	Microsoft Windows	Linux	IBM AIX
オペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows Server 2008 (R2) SP1 64 ビット (Standard、Enterprise Edition) ■ Microsoft Windows Server 2012 64 ビット (Standard) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Red Hat Enterprise Linux 6 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリース ■ Red Hat Enterprise Linux 5.5 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリース ■ SUSE Linux Enterprise Server 11 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリース²⁾ ■ SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリース²⁾ ■ Oracle Enterprise Linux Server 6u2 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリース³⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ AIX 7.1 : TL0 : すべての保守リリース ■ AIX 6.1 : TL2 : すべての保守リリース

アップグレードを実施する顧客への追加サポート

	Oracle Solaris	Hewlett-Packard HP-UX
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■ Solaris 10 SPARC64 64 ビット : すべての保守リリース^{4, 5)} 	<ul style="list-style-type: none"> ■ HP-UX 11iv3 IA64 : すべての保守リリース⁶⁾

メモ:

- ¹⁾ CA Clarity PPM は、サポートされているオペレーティングシステムのすべてのローカライズバージョンでサポートされています。
- ²⁾ Microsoft SQL Server データベースに接続している SUSE Linux 上の CA Clarity PPM は、現在サポートされていません。
- ³⁾ Microsoft SQL Server データベースに接続している OEL 6u2 上の CA Clarity PPM は、現在サポートされていません。
- ⁴⁾ Oracle UltraSPARC T2、T3、および T4 プロセッサはサポートされていません。Solaris (x86) はサポートされていません。
- ⁵⁾ Solaris のサポートは、Clarity の次のメジャー リリース (つまり CA Clarity PPM v14.0.00) で終了します。
- ⁶⁾ HP-UX のサポートは、Clarity の次のメジャー リリース (つまり CA Clarity PPM v14.0.00) で終了します。

コンポーネント

仮想化	「CA Support Statement for Virtualization」を参照してください。このドキュメントを検索するには、 CA Support Online にログインし、[CA Clarity Project & Portfolio Manager Support] ページに移動し、[Product Status] 領域までスクロールして、[Virtualization Support information] リンクをクリックします。データベース仮想化の詳細については、注の ⁷⁾ を参照してください。
データベース⁷⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition: バージョン 11.2.0.2.x またはそれ以上のパッチ レベル^{7a, 7b)} ■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition: バージョン 11.2.0.3.x またはそれ以上のパッチ レベル^{7a, 7b)} ■ Microsoft SQL Server 2008 Enterprise Edition : すべてのサービス パック^{7c) , 7d)} ■ Microsoft SQL Server 2008 R2 Enterprise Edition : すべてのサービス パック^{7c) , 7d)} ■ Microsoft SQL Server 2012 Enterprise Edition : すべてのサービス パック^{7b)}
データベースインターフェース	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle および SQL Server (CA Clarity PPM 配布に含まれる) 用の CA Clarity PPM DataDirect Type 5 (v5.0.1) ドライバ。
Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Java SE JDK 1.7 update 21 (64 ビット) またはそれ以上のパッチ レベル⁸⁾ ■ HP JDK 7 (64 ビット) : 7.0.01 またはそれ以上のパッチ レベル⁸⁾ ■ IBM Java 7 (64 ビット) : 7.0.0 またはそれ以上のパッチ レベル⁸⁾

アプリケーションサーバ ⁹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache Tomcat 7.0.33 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) ■ Oracle WebLogic Server 12.1.1 : すべてのサービス パック (64 ビット) ■ IBM WebSphere Application Server 8.5^{a)}
レポートサーバ	CA Business Intelligence™ リリース 3.3 (BOXI 3.1 SP 5)。詳細については、 CA Business Intelligence リリース 3.3 (P. 45) を参照してください。
メールサーバ	すべての SMTP/IMAPI/POP3 メール サーバを使用できます。CA Clarity PPM は、いかなるベンダーも明示的にはサポートしていません。

メモ:

- ⁷⁾ データベースはベンダーにサポートされるすべてのオペレーティングシステム上で実行できます。実稼働データベースは、ソフトウェアによって仮想化されたオペレーティングシステム上ではサポートされていません。また、パフォーマンスや並行処理のテストのためのダウンストリーム環境が、実稼働で使用されるものと一致することを推奨します。
- ^{a)} Oracle Real Application Cluster (RAC) はサポートされています。
- ^{b)} ここで、(x) はサポートされるパッチ レベルを表します (たとえば、11.2.0.4 は新しいリリースで、本質的にサポートされています)。
- ^{c)} SQL Server の名前付きインスタンスはサポートされています。SQL Server クラスタリングは、失敗したバックグラウンドプロセスの再起動にデータベースが失敗した後で、手動での介在によってサポートされます。
- ^{d)} 5000 を超えるユーザまで拡大するすべての Microsoft SQL Server 展開には、CA Technologies による承認が必要です。それ以外の場合は、Microsoft SQL Server および Microsoft SQL Server が CA Clarity PPM のような OLTP (オンライントランザクション処理) 製品を処理する方法に関するスケーラビリティの制限により、Oracle が必要条件になります。
- ⁸⁾ 最新のパッチ レベルを実行することをお勧めします。
- ⁹⁾ CA Clarity PPM は、サポートされているアプリケーションサーバのすべてのローカライズバージョンでサポートされています。
- ^{a)} WebSphere の既存のインストールは、AIX については次のメジャー リリースでサポートされる予定です。

統合サーバ

以下の表に、CA Clarity PPM と統合しているサーバ用にサポートされるソフトウェアを示します。

シングル サイ ンオン サーバ	CA SiteMinder 12.0 SP3
LDAP Server	すべての LDAP v3 準拠ディレクトリ サーバ (CA Directory、Microsoft Active Directory、Novell eDirectory、Oracle Directory Server、Sun One Directory など) をサポートします。
SharePoint Server	SharePoint Server 2010 (64 ビット)、Enterprise Edition ¹⁾

メモ:

- ¹⁾ SharePoint Connector バージョン 2.0.2。

クライアント

以下の表に、CA Clarity PPM にアクセスするクライアント コンピュータ用にサポートされているソフトウェアを示します。

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows XP Professional : SP3 以上 ■ Microsoft Windows 7 SP1 32 ビットおよび 64 ビット、全エディション ■ Microsoft Windows 8 32 ビットおよび 64 ビット 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Mac OS X: リリー ス 10.8.2 または それ以上のパッ チ レベル 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「Web ブラウザ」 セクションにリ ストされている ブラウザをサ ポートするすべ てのベンダーま たはバージョン。

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Internet Explorer 10.0 およびそれ以上のパッチ レベル (Microsoft Windows 8 のみ)■ Microsoft Internet Explorer 9.0 およびそれ以上のパッチ レベル■ Microsoft Internet Explorer 8.0 およびそれ以上のパッチ レベル■ Firefox 19.0.2 およびそれ以上のリリース レベル²⁾■ Firefox ESR 17.0.4 およびそれ以上のリリース レベル²⁾■ Google Chrome 25.0.1364.172m およびそれ以上のリリース レベル²⁾	<ul style="list-style-type: none">■ Safari 6.0.2 およびそれ以上のパッチ レベル■ Firefox 19.0.2 およびそれ以上のリリース レベル²⁾	<ul style="list-style-type: none">■ Firefox 19.0.2 およびそれ以上のリリース レベル²⁾

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
クライアントアプリケーション ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Excel 2007-2013 32 ビット、全エディションまたは 2007 互換機能パック入り Microsoft Excel 2003 ■ Microsoft Excel 2010-2013 64 ビット、全エディション ■ Microsoft PowerPoint 2007-2010 32 ビット、全エディション ■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 64 ビット、全エディション ■ Microsoft Project 2007-2013 32 ビット、全エディション^{3)、3a)} ■ Microsoft Project 2010-2013 64 ビット、全エディション^{3b)} ■ Java 7 Runtime Environment: 1.7 またはそれ以上のパッチ レベル⁴⁾ ■ Adobe Flash Player 10 またはそれ以上⁵⁾ ■ Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上⁶⁾ ■ CA Open Workbench 2.1 ■ Crystal Reports 2008 Designer Client SP5⁷⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Excel 2011 ■ Microsoft Projectへのサポートなし ■ Adobe Flash Player 10 またはそれ以上⁵⁾ ■ Mac OS Preview PDF ビューア⁶⁾ ■ Open Workbenchへのサポートなし ■ Crystal Reports Designerへのサポートなし 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Excel エクスポートへのサポートなし ■ Microsoft Projectへのサポートなし ■ Adobe Flash Player 10 またはそれ以上⁵⁾ ■ Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上⁶⁾ ■ Open Workbenchへのサポートなし ■ Crystal Reports Designerへのサポートなし
サードパーティ SOAP 統合ツールキット	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Visual Studio 2005 (.NET Framework 2.0) ■ Apache AXIS 1.4 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache AXIS 1.4 ■ Apache AXIS 1.4 	

メモ:

- ¹⁾ 複数バージョンのサードパーティ ソフトウェアの同時使用は、非同期および互換性の問題を引き起こす可能性があるため、サポートされていません。CA Technologies は、ベンダーがサポートするサードパーティ ソフトウェアのバージョンのみをサポートします。
- ²⁾ Firefox および Chrome の新しいリリースは、リリース後の最小限のテストだけでサポートされている場合があります。Firefox や Chrome などのブラウザは頻繁に更新されます。リリースは必要に応じて更新されます。
- ³⁾ Microsoft Project 2007 のサポートは、CA Clarity PPM リリース 13.3 で終了します。
- ^{3a)} x86 Microsoft Project 用の JRE x86 をインストールしてください。
- ^{3b)} x64 Microsoft Project 用の JRE x64 をインストールしてください。
- ⁴⁾ Open Workbench、CA Clarity PPM Microsoft Project インターフェース、および XOG クライアントにおいて必要です。
- ⁵⁾ Xcelsius ダッシュボードの表示用。
- ⁶⁾ 製品ドキュメントおよびオンライン レポートの表示用。
- ⁷⁾ カスタム レポート開発にのみ必要。

Clarity Mobile Time Manager

以下の表に、Clarity Mobile Time Manager アプリケーションに対してサポートされているモバイル オペレーティング システム プラットフォームを示します。

	iOS	Android
モバイル オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apple iOS 6.0 またはそれ以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Google Android OS 4.0 またはそれ以上

CA Clarity PPM に含まれる製品

以下の表に、CA Clarity PPM に付属するライセンスされたサードパーティ ソフトウェアを示します。以下のソフトウェアは、すべて CA Clarity PPM のインストール メディアに含まれています。

コンポーネント	特記事項
Java Runtime	サポートされているすべてのオペレーティング システム用の JDK インストーラ。
アプリケーション サーバ	サポートされているすべてのオペレーティング システム用 Apache Tomcat。
レポート サーバ	CA Business Intelligence r3.3
クライアント アプリケーション	Xcelcius デザイナ 2008 SP5

注:

- Oracle WebLogic および IBM WebSphere は CA Clarity PPM に含まれていません。Tomcat でこれらのサーバのどちらかを使用するユーザは、CA Clarity PPM とは別のライセンスを取得する必要があります。
- Crystal Reports Designer は、カスタム レポート開発にのみ必要であり、CA Clarity PPM には含まれていません。これは [CA Support Online](#) からダウンロードできます。
- Crystal Reports Designer 2008 SP5 クライアントは、ダウンロードして使用できます。また、現在は Clarity に含まれています。

変更履歴

CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Windows XP : SP3 のサポートを追加しました。■ Microsoft Windows XP : SP2 のサポートを終了しました。■ Microsoft Windows 8、32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを追加しました。■ Microsoft Windows Vista : すべてのエディションのサポートを終了しました。■ Microsoft Windows Server 2008 (R2 以外) のサポートを終了しました。■ Mac OS X 10.8.2 のサポートを追加しました。■ Mac OS X 10.4 のサポートを終了しました。■ Oracle Enterprise Linux 6u2 のサポートを追加しました。
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none">■ Java JDK 1.7 update 21 およびそれ以上のサポートを追加しました。
モバイル オペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none">■ Apple iOS 6.0 およびそれ以上のサポートを追加しました。■ Google Android 4.0 (Ice Cream Sandwich) およびそれ以上のサポートを追加しました。
データベースサーバ	<ul style="list-style-type: none">■ Oracle 11.2.0.3 Standard Edition および Enterprise Edition のサポートを追加しました。■ Microsoft SQL Server 2012 Enterprise Edition のサポートを追加しました。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none">■ Tomcat 7.0.33 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。■ Tomcat 7.0.26 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none">■ 変更はありません。

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<p>注: CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox 19.0.2 のサポートを追加しました。 ■ Firefox ESR 17.0.4 のサポートを追加しました。 ■ Firefox ESR 10.0.5 のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Internet Explorer 10 (Windows 8 のみ) のサポートを追加しました。 ■ Chrome 25.0.1364.172m のサポートを追加しました。 ■ Apple Safari 6.0.2 (Mac OS X 10.8.2 またはそれ以上で使用) のサポートを追加しました。
クライアント アプリケー ション	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Project 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Excel 2010-2013 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ CA Open Workbench 2.1 のサポートを追加しました。 ■ CA Open Workbench 2.0 のサポートを終了しました。
データベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソフトウェアによって仮想化されたオペレーティング システムでのデータベース実行のサポートを明確化しました。 ■ Oracle 10.2.0.5 のサポートを終了しました。

メモ:

- ¹⁾ このサポートの対象は、Clarity Mobile Time Management アプリケーションのみです。

CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">■ OEL Server 6u2 のサポートを追加しました。■ Red Hat Enterprise Linux 5.5 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを追加しました。■ Red Hat Enterprise Linux 5 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを終了しました。■ Microsoft Windows Server 2008 R2 Service Pack 1 のサポートを追加しました。■ Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 ビット) Standard Edition または Enterprise Edition のサポートを終了しました。■ Microsoft Windows Server 2003 64 ビット Standard Edition または Enterprise Edition (Service Pack 2 まで) のサポートを終了しました。■ SUSE Linux Enterprise Server 10 Service Pack 4 64 ビット (x86 チップセット) のサポートを追加しました。■ SUSE Linux Enterprise Server 10 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを終了しました。■ AIX 7.1 : すべての保守リリースのサポートを追加しました。■ AIX 5.3 : すべての保守リリースのサポートを終了しました。■ Microsoft Windows Vista Service Pack 2 : すべてのエディションのサポートを追加しました。■ Microsoft Windows Vista : すべてのエディションのサポートを終了しました。■ Microsoft Windows 7 Service Pack 1, 32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを追加しました。■ Microsoft Windows 7, 32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを終了しました。

コンポーネント	説明
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Java SE JDK 1.7.0_4 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ HP JDK v7 : 7.0.01 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ HP JDK 6 : 6.0.05 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ IBM Java 7.0.0 64 ビット : それ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ IBM Java 6 64 ビット : SR6 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ Sun J2SDK 1.6.0 : バージョン 1.6.0_20 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 7.0.26 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Tomcat 6.0.35 のサポートを終了しました。 ■ Oracle Weblogic Server 12.1.1 : すべてのサービス パック (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Oracle WebLogic Server 10.3 : すべてのサービス パック (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ IBM WebSphere Application Server 8.5 (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ IBM WebSphere Application Server 7.0.0.7 (64 ビット) のサポートを終了しました。
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ CA Business Intelligence リリース 3.3 (BOXI 3.1 Service Pack 5) のサポートを追加しました。 ■ CA Business Intelligence リリース 3.2 (BOXI 3.1 Service Pack 3) のサポートを終了しました。

変更履歴

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<p>注: CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none">■ Firefox ESR 10.0.5 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。■ Firefox 13.0 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。■ Chrome 18.0.1.25.152m 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。
クライアント アプリケー ション	<ul style="list-style-type: none">■ Xcelcius Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。■ Xcelcius Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。
データベース	<ul style="list-style-type: none">■ ソフトウェアによって仮想化されたオペレーティング システムでのデータベース実行のサポートを明確化しました。■ Oracle 10.2.0.5 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">■ Firefox 10.0 のサポートを追加しました。■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。■ Firefox 3.6 のサポートを追加しました。■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。
アプリケー ション サーバ	<ul style="list-style-type: none">■ Tomcat 6.0.35 のサポートを追加しました。■ Tomcat 6.0.26 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM バージョン 13.0.00 での変更点

コンポーネント	説明
サーバ オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"> ■ CA Technologies は、Solaris および HP-UX での既存のインストールに対してアップグレードを実施する顧客にのみサポートを提供します。 ■ SUSE Enterprise Linux 11 のサポートを追加しました。 ■ RHEL 6.0 のサポートを追加しました。 ■ 32 ビット オペレーティング システムを中止しました。
サーバ DB	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft SQL Server 2008 R2 を追加しました。 ■ Microsoft SQL Server 2005 のサポートを中止しました。
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ 32 ビットのサポートを中止しました。
アプリケーション サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 32 ビットのサポートを中止しました。
レポート サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ CA Business Intelligence リリース 3.2 のサポートを追加しました。 ■ Actuate のサポートを終了しました。 ■ CA Business Intelligence リリース 3.0 のサポートを終了しました。
クライアント ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox 8.0 のサポートを追加しました。 ■ Safari 5.1.1 のサポートを追加しました。 ■ IE 9.0 のサポートを追加しました。 ■ IE6 および IE7 のサポートを中止しました。
クライアント アプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Project 2000、2002 および 2003 のサポートを中止しました。 ■ Crystal Reports デザイナ 2008 のサポートを、SP3 またはそれ以上（サービス パックではなく）と定義しました。
SharePoint Server	<ul style="list-style-type: none"> ■ SharePoint Server 2010 のサポートを追加しました。 ■ SharePoint Server 2007 のサポートを中止しました。

FIPS オペレーティング モード制限

すべての CA Clarity PPM プラットフォームが、FIPS 140-2 認定用に RSA BSAFE Crypto-J 6.0.0.1 をサポートするとは限りません。以下の表に、RSA によって文書化された互換性のあるプラットフォームおよびオペレーティング システムを示します。ほかのプラットフォームが正しく機能する場合がありますが、CA Technologies はここにリスト表示されているプラットフォーム以外での Crypto-J 6.0.0.1 のサポートを確認できません。

プラットフォーム	オペレーティング システム	ビット数	リリース
Microsoft Windows	2008 Server	64	Oracle JDK 1.7 update 21
Red Hat Linux	Advanced Server 6.0	64	Oracle JDK 1.7 update 21
IBM AIX	AIX 6.1	64	IBM Java 7 (64 ビット)

メモ:

- <JAVA_HOME>/jre/lib/security 以下の java.security ファイルに、すべてのセキュリティ プロバイダがその優先順位と共にリスト表示されます。CA Clarity PPM は、自動的にプロバイダリストで Crypto-J プロバイダを SunJCE プロバイダの位置より上に配置します。CA Clarity PPM で Crypto-J プロバイダを使用するには、次のように明示的に、最初のインデックス位置のセキュリティ プロバイダエントリを設定する必要があります：
security.provider.1=com.sun.crypto.provider.SunJCE。これに応じて、他の位置のインデックス番号を調整する必要があります。Sun SunJCE セキュリティ プロバイダが最初のセキュリティ プロバイダであることを確認します。
- AIX で IBM FIPS プロバイダを使用している場合は、上記で述べた変更を加える必要はありません。AIX は、FIPS モード用に IBM FIPS プロバイダを使用しています。

IPv6 ネットワーク互換性制限

CA Clarity PPM は、IPv6 ネットワーキング環境での動作を制限付きで認定されています。IPv6 を使用する CA Clarity PPM のその他の設定は動作しますが、認定されていません。IPv6/IPv4 混合環境では、サーバインスタンスは IPv6 および IPv4 のそれぞれに対して設定された、2つのネットワークインターフェースカードを使用すると想定されています。

標準的な設定での Clarity のインストール

設定	アプリケーション サーバ 用 OS	アプリケー ションサー バ	データベース 用 OS	データベース用 OS	ステータス
1	Apache Tomcat 7.0.33 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	純正 IPv6 および ミックス モードで 認定済みです。
2	Apache Tomcat 7.0.33 (64 ビット)	RHEL 6.2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.2	RHEL 6.2	純正 IPv6 および ミックス モードで 認定済みです。
3	IBM Websphere 8.5 (64 ビット)	RHEL 6	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.2	Windows 2008 R2	ミックス モードで 認定済みです。
4	Oracle WebLogic 12.1.1 (64 ビット)	AIX 7.1	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.2	Windows 2008 R2	純正 IPv6 および ミックス モードで 認定済みです。

Microsoft Windows 設定でのメール サーバ

設定	アプリケー ションサー バ 用 OS	アプリケー ションサー バ	データ ベース 用 OS	データベース 用 OS	メールサー バ	ステータス
5	Apache Tomcat 7.0.33 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	hMail Server 10.3.3 ¹⁾	純正 IPv6 および ミックス モードで 認定済みです。

Business Objects Testing CABI 3.3

設定	アプリケー ションサー バ 用 OS	アプリケー ションサー バ	データ ベース 用 OS	データベース 用 OS	BO CABI 3.3	ステータス
6	Apache Tomcat 7.0.33 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	CABI 3.3	ミックス モードで 認定済みです。

設定	アプリケーションサーバ 用 OS	アプリケーションサーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	BO	ステータス
7	Apache Tomcat 7.0.33 (64 ビット)	RHEL 6.2	Oracle Enterprise Edition	RHEL 6.2 11.2.0.2	CABI 3.3	ミックス モードで認定済みです。

アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド CA Clarity PPM 設定でのメール サーバ

設定	アプリケーションサー�バ 用 OS	アプリケーションサーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	メール サーバ 用 OS	ステータス
8	Apache Tomcat 7.0.33 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition	RH6 11.2.0.2	hMail Server 10.3.3 ¹⁾	ミックス モードで認定済みです。

アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド CA Clarity PPM 設定での Business Objects Testing CABI 3.3

設定	アプリケーションサーバ 用 OS	アプリケーションサーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	BO	ステータス
9	Apache Tomcat 7.0.33 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition	RH6 11.2.0.2	CABI 3.3	ミックス モードで認定済みです。

注:

¹⁾ hMail はテスト目的で使用されるオープン ソース メール サーバです。
(<http://www.hmailserver.com/>)

CA Business Intelligence リリース 3.3 - (SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 5) サポートされている設定

以下の Business Objects 設定は CA Clarity PPM 用にサポートされています。CA Business Intelligence (CABI) リリース 3.3 の最小ハードウェア要件などの追加情報は、CA Business Intelligence ドキュメントに記載されています。仮想化サポートの詳細については、次の SAP ドキュメントを参照してください：「*Business Objects Support Statement – VMWare ESX Server*」。

以下の表にリストされているアプリケーションサーバは、CA Clarity PPM との統合において CA Business Intelligence リリース 3.3 (BOXI Release 3.1 Service Pack 5) に対してテストされた最小限のリリースを示します。以降のリリース (名前に含まれる最後の数字で示される) はサポートされますが、CA Clarity PPM との統合において必ずしもテストされるとは限りません。アプリケーションサーバJDK も同様です。

注: 以下の表にリスト表示されたアプリケーションサーバのネットワークエディションがある場合、それらのネットワークエディションはサポートされません。特に指定がない限り、アプリケーションサーバ (JDK を基礎とする) の 32 ビットバージョンのみを使用できます。

CA Business Intelligence リリース 3.3 の実行に対しては、UNIX または Linux のオペレーティングシステムを使用した CA Clarity PPM システムでのテスト、および SQL Server での設定が行われていません。そのような場合、CA Technologies は、別の Windows サーバ上で CA Business Intelligence リリース 3.3 を実行することを推奨します。

オペレーティング システム	サーババージョン	CABI 3.3 アプリケーション サーバ/JDK	Clarity データベース プロバイダ/データコネクタ
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows Server 2008 SP2 32 ビット および 64 ビットの Standard Edition または Enterprise Edition^{1), 2)} ■ Windows Server 2008 R2 64 ビット^{1), 2)} 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.6.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ MS SQL Server 2008/ODBC SQL Native Client 10、MS SQL Server 2008 JDBC (Sqljdbc.jar 3.0) 、OLE DB SQL Native Client 10 ■ MS SQL Server/Microsoft JDBC 1.2 for SQL Server 2005、Microsoft ODBC SNAC (ネイティブクライアント) 、Microsoft OLEDB SNAC (ネイティブクライアント) ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアントインストーラを使用)。
Linux	<ul style="list-style-type: none"> ■ Red Hat Enterprise Server 5.5 (64 ビット)³⁾ ■ Red Hat Enterprise Server 6 (64 ビット)⁴⁾ ■ SUSE Enterprise Linux 10 Service Pack 2 (64 ビット) ■ SUSE Enterprise Linux 11 (64 ビット) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.6.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2) 、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアントインストーラを使用)。
Solaris	<ul style="list-style-type: none"> ■ Solaris 10 (64 ビット SPARC)⁵⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.6.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2) 、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアントインストーラを使用)。

オペレーティングシステム	サーババージョン	CABI 3.3 アプリケーションサーバ/JDK	Clarity データベース プロバイダ/データコネクタ
AIX	<ul style="list-style-type: none"> ■ AIX 6.1⁶⁾ ■ AIX 7.1⁷⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.6.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2) 、 Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアントインストーラを使用)。
HP-UX	サポートされません。		

メモ:

- ¹⁾ Business Objects は、リスト表示されているオペレーティングシステム用のすべての Microsoft クリティカルパッチのインストールをサポートおよび推奨します。
- ²⁾ Query as a WebService (QaaWs) を利用する場合は、.NET Framework 2.0 が必要です。
- ³⁾ RHEL 6 の最小パッチ要件 : compat-libstdc++-33-3.2.3-69.el6.i686 (GCC 3.3.4 互換標準 C++ ライブラリ) 、 glibc-2.12-1 (RedHat アドバイザリ RHBA-2007:0619-3) 、 libXext.i386、 libncurses.so.5
- ⁴⁾ Solaris 10 の最小パッチ要件 : SUNWgzip、SUNWzlib、SUNWscpu、SUNWbash、SUNWbcp、SUNWxcu4 XCU4 Utilities、SUNWxwfnt、SUNWxwp1t、SUNWlibC、SUNWeu8os - American English/UTF-8 L10N For OS Environment User Files、SUNWeuluf - UTF-8 L10N For Language Environment User Files、SUNWuiu8 - Iconv modules for UTF-8 Locale、SUNWulcf - UTF-8 Locale Environment Common Files、SUNWmfrun、SUNWxwice。
- ⁵⁾ AIX 6.1 の最小パッチ要件 : Technology Level 2 SP1、IBM C++ Runtime Environment Components for AIX => xlC.aix61.rte:10.1.0.0。
- ⁶⁾ AIX 7.1 の最小パッチ要件 : Technology Level 7.1.0.0 / 7100-00-00-0000、IBM C++ Runtime Environment Components for AIX => xlC.aix61.rte:11.1.0.1。

第5章：アクセシビリティ機能

製品機能の強化点

CA Technologies は、すべてのお客様が弊社の製品およびサポートドキュメントを正しく使用してビジネス業務を遂行できるよう、全力を尽くしています。アクセシビリティモードを有効にすると、支援を必要とするユーザ向けに、ユーザインターフェースのコントラストを最適化し、スクリーンリーダーをアシストします。

CA Clarity PPM のアクセシビリティ機能は、Mozilla Firefox 13 ブラウザおよび Job Access With Speech (JAWS) スクリーンリーダーと一緒に使用したときに最高の機能を発揮します。

CA Clarity PPM は、以下の領域において Windows ベースおよび Macintosh ベースの環境からアクセシビリティ拡張機能を継承します。

- 表示
- 音声
- キーボード
- マウス

注: 以下のトピックの情報は、Windows ベースおよび Macintosh ベースのアプリケーションに適用されます。Java アプリケーションは多数のホストオペレーティングシステムで実行されており、これらのシステムの一部にはすでに Java アプリケーションで使用可能な支援テクノロジがあります。これらの既存の支援テクノロジで、JPL で記述されたプログラムへのアクセスを提供するには、ネイティブ環境における支援テクノロジ自体と、Java 仮想マシン (Java VM) 内から使用可能な Java Accessibility サポートとの間のブリッジが必要です。このブリッジは、両端が Java VM とネイティブオペレーティングシステムであるため、ブリッジ先のプラットフォームごとに若干異なります。Oracle では現在、このブリッジの JPL 側と Win32 側の両方を開発しています。

表示

コンピュータ画面の表示を見やすくするには、以下のオプションを調整します。

フォントスタイル、色、およびアイテムのサイズ

フォントの色、サイズ、その他の表示の組み合わせを選択できます。

画面の解像度

ピクセル数を変更して、画面上でオブジェクトを拡大できます。

カーソルの幅および点滅速度

カーソルを見つけやすくしたり、点滅速度を最小化したりできます。

アイコンのサイズ

アイコンを大きくして見やすくしたり、アイコンを小さくして画面のスペースを増やしたりできます。

高コントラストの配色

見やすい色の組み合わせを選択できます。

音声

画像の代わりに音声を使用するか、またはコンピュータ サウンドを聞きやすくなり区別しやすくなりするには、以下のオプションを調整します。

ボリューム

コンピュータ サウンドの音量を上げたり下げたりできます。

音声変換

音声で読み上げたコマンド オプションやテキストを聞くことができます。

警告

警告を視覚的に表示します。

通知

アクセシビリティ機能が有効または無効になったときに、聴覚的または視覚的な合図を送ります。

スキーム

コンピュータのサウンドと特定のシステム イベントを関連付けることができます。

キャプション

スピーチおよびサウンドのキャプションを表示できます。

キーボード

以下のようにキーボードを調節できます。

表示の間隔

キーを押したときにどのくらいの速度で文字を繰り返すかを設定できます。

トーン

特定のキーを押したときに音が鳴るようにできます。

ステイッキー キー

片手または1本の指で入力するユーザは、別のキーボードレイアウトを選択できます。

マウス

以下のオプションを使用して、マウスの動作を速くしたり使いやすくしたりできます。

クリック速度

選択するときのマウスボタンのクリック速度を選択できます。

クリック ロック

マウスボタンを押したままにしなくても強調表示したりドラッグしたりできます。

アクションの入れ替え

マウスの左ボタンで制御される機能と右ボタンで制御される機能を入れ替えることができます。

点滅速度

カーソルの点滅速度を選択したり、点滅させるかどうかを選択したりできます。

ポインタのオプション

以下の操作を実行できます。

- 入力中のポインタの非表示
- ポインタ位置の表示

- ポインタが画面を移動する速度の設定
- 見やすくするためのポインタのサイズおよび色の選択
- ダイアログ ボックス内のデフォルト位置へのポインタの移動

ユーザのアクセシビリティの設定

ユーザのアクセシビリティを設定するには、以下の手順に従ってください。

以下の手順に従います。

1. [管理] を開き、[組織とアクセス] から [リソース] をクリックします。
2. リソースの名前をクリックします。
[プロパティ] ページが表示されます。
3. 適切な [アクセシビリティ] チェック ボックスをオンにします。

スクリーンリーダー最適化 UI

スクリーンリーダーがよりよく機能を認識できるように、ユーザインターフェースが最適化されるかどうかを決定します。スクリーンリーダーを使用している視覚障害のあるすべてのユーザのために、このチェック ボックスをオンにします。

既定値：オフ

ハイコントラストの色モード

色覚障害のあるユーザを補助する特別な UI テーマを使用するかどうかを決定します。選択すると、ユーザにはハイ コントラストの UI テーマが表示されます。

既定値：オフ

4. 変更を保存します。
5. (オプション) [スクリーンリーダー最適化 UI] を選択した場合は、スクリーンリーダー ソフトウェアがコンピュータ上で実行されていることを確認してください。
6. ユーザが CA Clarity PPM にログインすると、一旦ログアウトしてログインし直すよう指示されます。

キーボードショートカット

基本機能のキーボードショートカット

以下の表では、すべての CA Clarity PPM ページで利用可能な基本機能のキーボードショートカットについて説明します。

フィーチャー	キーの組み合わせ
ホームメニュー	Ctrl+Alt+h
管理メニュー	Ctrl+Alt+a
お気に入りメニュー	Ctrl+Alt+f
戻る	Ctrl+Alt+b または Alt+ 左方向キー
ホームページ	Ctrl+Alt+Home
更新	Ctrl+Alt+F5
検索	Ctrl+Alt+s
履歴	Ctrl+Alt+v
ヘルプ	F1

CA Clarity PPM アクションのキーボードショートカット

以下の表では、CA Clarity PPM ページ上のアクションのキーボードショートカットについて説明します。

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティキーの組み合わせ
フィールドエディタの有効化（たとえば日付 ピッカ一等）	Enter	Alt+Enter
ポップアップを閉じる	Esc	Shift+Esc
タブメニューを開く	Enter	Alt+Enter

キーボード ショートカット

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティキーの組み合わせ
メニューで左、右、上、または下に移動	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー	Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー
ハイライトされたメニュー アイテムの選択	Enter	Alt+Enter
リスト ページのリンクを開く	Ctrl+Enter	
チェック ボックスのオン/オフ <small>注: チェック ボックスにフォーカスがある必要があります。</small>	スペース キー	
階層リストの展開 <small>注: 階層リストの + にフォーカスがある必要があります。</small>	スペース キー	

リストのキーボード ショートカット

以下の表では、リストのキーボード ショートカットについて説明します。

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
リスト内の編集と表示モード間の切り替え	表示、編集	Enter
リスト (グリッド) 内のセルからセルへの移動	表示	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー
リスト内の別のエリアへの移動： ポートアイコン、列ヘッダ、リストの本文、ボタン	表示	Tab (転送) Shift+Tab (戻る)
表示モードへの切り替え	編集	Esc または Enter
セル内での左または右への移動	編集	左方向キー 右方向キー

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
編集可能なセルから編集可能なセルへの移動	編集	Tab (転送) Shift+Tab (戻る)
行の最後に移動 注: TSV 行でのアクションの場合は、 キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。	編集	Ctrl+ 右方向キー
行の先頭に移動	編集	Ctrl+ 左方向キー
ページを上または下に移動	表示、編集	Ctrl+Alt+ 上方向キー Ctrl+Alt+ 下方向キー
リストの一番上または一番下に移動 注: TSV セル内のアクションの場合は、 キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。	表示、編集	Ctrl+ 上方向キー Ctrl+ 下方向キー
ドロップダウンリストまたは日付セレクタを開く	編集	Enter
ドロップダウン内の選択項目を移動	編集	上方向キー 下方向キー
ドロップダウンまたは日付セレクタ内のハイライトされた値の選択	編集	Enter
日付セレクタ内の日付のハイライト	編集	下方向キー
長いテキストエリアでの新しいラインの追加	編集	Ctrl+Enter

付録 A: サードパーティソフトウェアに関する通知

CA Clarity PPM で使用するサードパーティ製ユーティリティおよびソフトウェアのライセンス情報は、CA Technologies マニュアル選択メニューの ¥Bookshelf Files¥TPSA フォルダから入手できます。

CA Technologies マニュアル選択メニューでライセンス情報を開くことができます。サードパーティ ライセンス契約の隣の [TXT の表示] リンクをクリックします。